



南葵音楽文庫ミニレクチャー（第19回）

エリザベス1世女王とマドリガル集《オリアナの勝利》 《ノヴェット合唱教本》N-6/105

佐々木 勉

2018年4月28日午前11時

和歌山県立図書館南葵音楽文庫閲覧室

エリザベス女王とマドリガル集《オリアナの勝利》



エリザベス1世女王
(1533~1603年、在位1558~1603年)
©National Portrait Gallery, London

エリザベス1世女王とその治世

1558年から45年に及ぶ治世下では、世界各地に植民地が拡大され、カトリック教会とイギリス国教会の間に立つ「宗教和解の政策」が採られたため、経済的に繁栄し、文学、演劇、音楽などが発展。

南葵音楽文庫
和歌山県立図書館内
和歌山市西高松1-7-38
tel.073-436-9500
https://www.lib.waka
yama-c.ed.jp/nanki/



トマス・モーリー (1557~1602年)
マドリガル集《オリアナの勝利》(1601年、ロンドン)のタイトル・ページ

マドリガル集《オリアナの勝利》

1598年にエリザベス1世女王から楽譜出版の独占権を得たトマス・モーリーが、1592年にヴェネツィアで出版されたイタリアのマドリガーレ集《ドーリの勝利》をモデルに、同女王を讃えるために当時活躍していた音楽家23人に呼びかけて作品を集め、編纂したマドリガル集。のべ23人の音楽家による5声のマドリガル14曲と、6声のマドリガル11曲を含み、すべての作品が、「そして牧人とダイアナの妖精たちは、『美しいダイアナ、万歳!』と歌った Then sang the shepherds and Nymphs of Diana, "Long live fair Oriana" という言葉で締めくくられる。

トマス・モーリー

1557~1602年。イギリスの作曲家、音楽理論家、楽譜出版者。セント・ポール大聖堂のオルガン奏者、王室礼拝堂のジェントルマン(1592年以降)として活躍し、その間、多数の作品集を出版。97年には、イギリス・ルネサンス期の最も重要な音楽理論書《平易な実践音楽の手引》を出版。

マドリガル

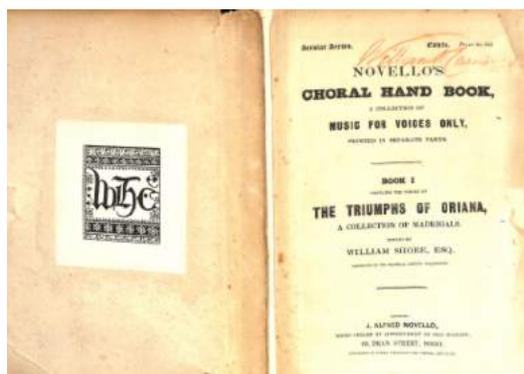
イタリアのマドリガーレに由来する、重唱、あるいは合唱で歌われるイギリス・ルネサンス期を代表する世俗的声楽曲。イタリアで流行していたマドリガーレが、1588年にニコラス・ヤングによって《ムジカ・トランサルピーナ(アルプスの彼方の音楽)》として英語訳出版されたことによってイギリスにおいて愛唱されるようになった。

オリアナ

中世末期のスペインのガルシ・オールドネス・デ・モンタルポによる騎士物語《ゴールのアマデイス》に登場するヒロインでイングランド王家の姫。貞淑な、理想の女性とされ、ヤングのマドリガル曲集のジョヴァンニ・クロウチェの作品に現れ、これをモーリーはエリザベス1世女王に置き換えた。

《ドーリの勝利》

音楽愛好家のレオナルド・サヌードの依頼を受けて編纂された、様々な音楽家による29曲から構成されるマドリガーレ集。ドーリは、サヌードの花嫁の名前。すべての作品は、「そこで妖精と牧人たちは声を調和させた『美しいドーリ、万歳!』」という言葉で締めくくられ、この言葉含むクロウチェのマドリガーレをヤングは上記の《ムジカ・トランサルピーナ》に「そして牧人とダイアナの妖精たちは『美しいオリアナ、万歳!』」と英語訳して収録。モーリーは、それを《オリアナの勝利》に取り入れた。



ノヴェット合唱教本、世俗音楽シリーズ《オリアナの勝利》Novello's Choral Hand Book/Secular Series, "The Triumphs of Oriana" 出版年不明、カミングスのサインが入った中扉と蔵書票 N-6/105

ノヴェット

ヴィンセント・ノヴェット(1781~1861年)が、1811年に興した楽譜出版社。1829年に長男のジョゼフ・アルフレッドが会社を引き継ぎ、廉価の合唱用楽譜を出版して成功。1836年頃までに、Choral Hand Bookシリーズの出版を開始。

マドリガルと音画法：マドリガルズム

マドリガル集《オリアナの勝利》第17曲

トマス・ウィルクス《ヴェスタはラトモス山を駆け下りながら

As Vesta was from Latmos Hill Descending》

As Vesta was from Latmos hill descending, She spied a maiden Queen the same ascending, Attended on by all the shepherds' swain, To whom Diana's darlings came running down amain First, two by two, then three by three together, Leaving their Goddess all alone, hasted thither ; And mingling with the shepherds of her train, With mirthful tunes her presence entertain. Then sang the shepherds and Nymphs of Diana : Long live fair Oriana.	ヴェスタはラトモス山を駆け下りながら すべての牧人の求婚者に付き添われて 駆け上ってくる清らかな女王をこっそり覗き見た。 ダイアナを愛する者たちは彼女の方へまっしぐらに駆け下りるのを。 最初は2人ずつ、そして3人ずつ。 [自分たちの] 女神を1人残して、彼女のもとへと大急ぎ。 そして彼女のお供の牧人たちといっしょになって 楽しい調べで彼女を楽しませる。 そして牧人とダイアナの妖精たちは、 「美しいオリアナ、万歳」と歌った。
---	--

音画法：マドリガリズム

歌詞の内容や単語の意味（動き、数など）を直接的に、具体的に音楽で表現する作曲上の手法。特に、16世紀のマドリガーレやマドリガルで用いられたことから「マドリガリズム」と呼ばれる。



冒頭部分の第1、第2ソプラノ声部

from Latmos hill (ラトモス山を)：「山」という高さがあるものを表現する上行音階
descending (駆け下りながら)：「駆け下りる」という動きと方向を表す8分音符による下行音階



第1、第2ソプラノ声部

ascending (駆け上がる)：「駆け上がる」という動きと方向を表す8分音符による上行音階